

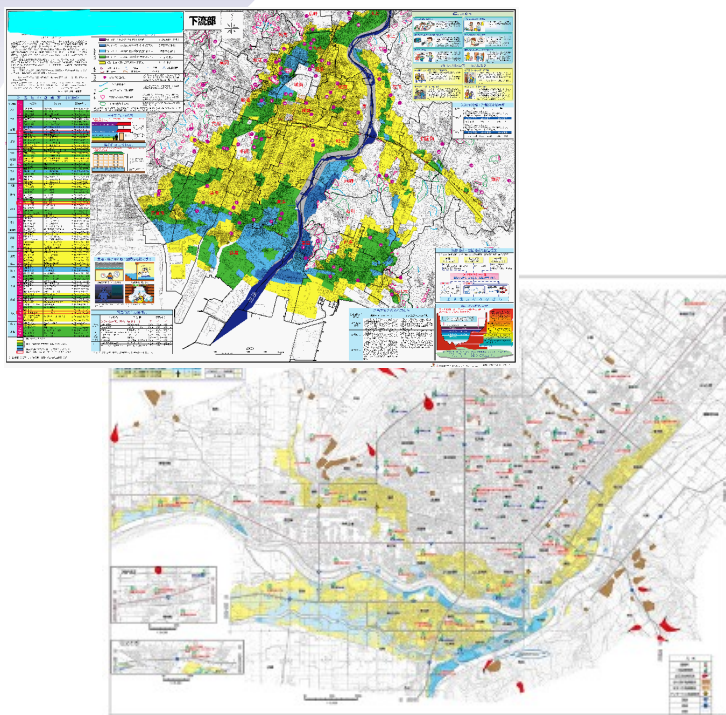
「地域防災力」向上への*action*！！



株式
会社

北開水工コンサルタント

ハザードマップに関する「不安」や「悩み」ありませんか



- 各戸配布しているが、発災した事例が無いので実際に活用されるか不安。
- 地域住民へ平常時からハザードマップや避難行動に関する正しい理解を浸透させたい。
- 想定区域の人々に避難をしてもらえなかったという苦い経験がある。
- 防災研修会等に参加されない住民に対してもハザードマップに関する理解を深めてもらいたい。

今こそ「地域防災力」の底上げが重要な時です

近年、ゲリラ豪雨のような集中豪雨による水災害が各地で頻発しており、同時に地域経済などへ甚大な被害を及ぼしています。



「公助」として、河川を管理する国や都道府県では、毎年のように発生する洪水被害軽減のため、河川整備を進められていますが、全て完成するまでには長い年月が必要となるため、ハード面だけでは対応することはできません。



また、第一線で水災害を未然に防ぐ役割を担っている水防団員の減少や高齢化、サラリーマン団員

の増加による平日の参集人数の不足等により、十分な水防活動が行えない懸念もあり、ソフト面の対策も重要と考えられます。

当社は、これまで河川に関する各種調査や検討・解析等の防災・減災分野のほか、住民との合意形成に関する業務にも幅広く携わってきました。

これまでの経験を生かし、対象地域の住民自らが水の危険性に「気づき」、どのように行動にすべきか「理解」ということの重要性に着目し、犠牲者を出さないまちづくりをご提案します。

● 地域防災力向上に向けたactionの一例

地域とのコミュニケーションツール、防災リーダーの育成として

● 災害図上訓練(DIG)を活用

DIG：訓練参加者が小グループで地図を囲み、地域のリスクなどを地図に書き込みながら、災害対応の検討を進めていく訓練のこと。
Disaster Imagination Gameの略。



防災教育というと一方的な講演会をイメージされることが多いのですが、小人数のグループで作業するDIGは、居住地域の地図を用いて、住民自らが地域に潜在している防災上の課題に“気づく”ことができるツールです。グループ討議の結果を共有することによって、長所を生かした災害時の行動基準を作成することができます。

また学校等で実施する場合には、事故等から身を守る「安全マップ」として利用することも可能です。

行政側にとってDIGの活用は、災害時の意外な課題が明らかになることもあり、有益なツールとして期待できます。

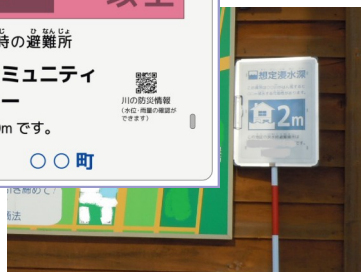
対象は小学4年生以上であればどなたでも実施可能ですので、出前講座や災害訓練などでご活用されてはいかがでしょうか。

当社実績(平成24年度)

- ・天塩川上流水防研修会運営補助 (北海道開発局 旭川開発建設部)
- ・北見河川事務所水災害教育資料作成 (北海道開発局 網走開発建設部)

会合に参加できない地域の方々へも理解を促進

● 「まるごとまちごとハザードマップ(まるまち)」を活用



これまで、地域で大水害が発生したことを後世に伝える取り組みとして、石碑や水位標を設置し洪水痕跡を保存する取り組みが各地で行われてきました。しかし、近年では新興住宅地の造成などにより、地域に被災経験のある住民は少なく、また、住民同士のコミュニティ意識も年々薄くなってきており、自分の住んでいる地域の危険度情報を知らない方も多くなっています。

「まるごとまちごとハザードマップ」は、ハザードマップの情報を、住民の目につくところへ掲示し、平時より洪水の危険性等の危機意識を醸成を図る取り組みです。近年では東日本大震災を契機に津波が襲来した地域でも整備されてきています。

また、実際に危険箇所や気になる箇所を自らの足で確認する「タウンウォッチング」を組み合わせたり、手持ちのスマートフォンやタブレットにAR(拡張現実)技術を活用したハザードマップ情報を取り込み活用することによって、より現実的に認識することができるようになります。

当社実績(平成24年度)

- ・十勝川水系啓蒙看板設置資料作成 (北海道開発局 帯広開発建設部)
- ・63113釧路川洪水浸水深標識等設置資料作成 (北海道開発局 釧路開発建設部)

● このようなことが期待できます

- ・ 防災に関心を持たれている地域住民に対し、「DIG」をきっかけとして、災害時や避難時の留意事項の周知等、対応力の底上げに繋がります。
- ・ 地域住民の目に留まりやすい場所へ浸水深看板を設置することにより、地域の危険性を実感することができ、防災に関心の低い住民に対しても、平常時から水災害への理解を促進できます。
- ・ 「DIG」と「まるまち」を組み合わせることにより、顔が見える「安心感」と同時に、官民一体となった地域コミュニティの強化につなげることができます。



株式
会社

北開水工コンサルタント

<http://www.suiko.jp>

本 社	〒080-0314 河東郡音更町共栄台西11丁目1番地	Tel 0155-31-6171
札幌支店	〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条2丁目5番10号	Tel 011-857-7605
旭川支店	〒070-0025 旭川市東5条3丁目2番8号	Tel 0166-27-8301
網走支店	〒093-0006 網走市南6条東6丁目11番3	Tel 0152-43-0451
釧路支店	〒085-0026 釧路市寿2丁目4番3号	Tel 0154-25-2045
留萌支店	〒077-0032 留萌市宮園町1丁目5番地14	Tel 0164-43-7864

- お問い合わせ： 本社 防災環境部 玉館 (0155-31-0658) 又は 本社 技術企画部 松川 (0155-31-8221)
そのほか、お近くの支店担当者までお気軽にお問い合わせください